

2018年度北海道生活協同組合連合会 第4回理事会開催報告

5月9日(木)全労済北海道会館5階会議室にて、三上耕治理事を議長に選出し開催された。冒頭、麻田会長挨拶後、平専務理事より第1号議案日生協第69回通常総会及び北海道労働金庫総会代議員について第2号議案 道生協連役員改選について第3号議案

地連運営委員推薦について第4号議案 2019年度各種会費・役員派遣(案)について第5号議案 北海道医療生協及びあさひかわ福祉生協会費免除・減額申請について、提案され、承認された。また、第6号議案 第63回道生協連通常総会の運営及び議案について、平専務理事が、第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案、第6号議案、について提案した。これらに関する質疑応答後、満場一致で議決された。

続いて、川原事務局長より「審議事項」第1号議案 LPガス問題取組の到達点と今後の取組計画について第2号議案 協同組合間連携活動の到達点と今後の取組計画について第3号議案 「福祉問題を総合的に考える委員会」の取組の到達点と今後の取組計

画について、提案され、これらに関する質疑応答後、満場一致で確認された。

報告事項に関し、一刀特定監事より③第2回監事会報告について、それを除く①一般活動経過報告について②臨時理事会開催結果報告について、④第3回理事会議事録について⑤2月4日、金子勝講演会報告について⑥消費者基本計画パブリックコメント表明の件について⑦ヒバクシャ国際署名の取り組みについて⑧2019年北海道胆振東部地震緊急支援募金最終報告について⑨こども食堂保険契約口座閉鎖報告について⑩「北海道生協運動史」増補版原稿確認の件について⑪友好団体からの協賛・後援・お知らせ他について⑫北海道からの通知他について、平専務より報告がなされた。⑬北海道・東北地連報告については、井形オブザーバーより報告がなされ、消費税増税に伴うキャッシュレス消費者還元事業について生協事業が対象となる場合の条件について、詳細を再度情報提供される旨の報告があった。以上をもってすべての議事が終了した。

道連第63回通常総会のご案内

当連合会の第63回通常総会を下記の要領にて開催いたしますのでご案内申し上げます。
記

1. 開催日時	2019年6月20日(木) 午後1時より	第3号議案	監査報告 2019年度活動計画及び予算 決定の件について
2. 開催場所	ホテルポールスター札幌 札幌市中央区北4条西6丁目	第4号議案 第5号議案 第6号議案	役員報酬決定の件について 役員選任の件について 議案決議効力発生について
3. 議 題			
第1号議案	2018年度活動報告承認の件 について		
第2号議案	2018年度事業報告書及び決 算関係書類の承認の件につ いて		

「協同組合ネット北海道(準備会)」がスタート!

5月16日、北農ビル19階会議室において、「北海道協同組合間連絡協議会 幹事・事務局合同会議」が開催され、2020年3月の発足を目指した「協同組合ネット北海道準備会」のスタートが確認されました。

この会には、13団体34名の参加があり、その詳細は道漁連2人・道森連2人・道生協連8人・JA信連3人・ホクレン3人・JA厚生連2人・JA共済連2人・労金3人・ワーカーズコープ1人・北海道報徳社1人・道農業ジャーナリストの会1人・JCA1人・JA中央会4人と「ネット北海道」参加予定団体全員が参加する会議となりました。

会は、小野寺北海道農業協同組合中央会副会長の挨拶で始まり、司会進行はJA中央会高橋参事が勤めました。事務局より①「協同組合間連携に関する意識調査」の結果について②経過報告③「協同組合ネット北海道」の設立準備についてa. 設立趣旨・目的、組織運営・編成方針、組織概要、規約案b. 今後のスケジュールと事務局体制が提案され、協議の結果、事務局

提案がそれぞれ確認されました。

事務局は、JA中央会・道漁連・道森連・労金・道生協連が任に当たることとなりました。

最後に事務局より、交流会第2弾として9月を目処として「社会貢献事業」についての活動交流会の開催と事前のアンケート調査活動についての提起があり会は散会となりました。



当日の「ワークショップ」での論議の様子

第24回「福祉問題を総合的に考える委員会」活動報告

4月17日、第24回福祉問題を総合的に考える委員会が開催され、16人の参加があり、新しく北海道医療生協岩立さん、ワーカーズコープより成田さんの参加がありました。

当委員会が活動を始めて4年が経ちました。この間、参画メンバーは9団体から16団体に広がり、スタート当初は北海道生協連会員中心の活動でしたが昨今は会員よりも地域で活動する、NPOや福祉団体・大学関係者等が過半数を占めるようになり、より専門的経験と知識を生かした活動となってきています。

今回は、いくつかある活動テーマのうち、「子ども食堂問題」について報告いたします。北海道における子ども食堂の広がり、2017年2月13日道新報道時の「子ども食堂」は石狩管内で29ヶ所、全道で50ヶ所超の実態があるのではと報道されておりましたが、2019年3月時点では石狩管内60ヶ所、全道で150超の実態が把握されております。

一方、「北海道ネットワーク」の呼びかけに呼応し当初から参加して頂いた15団体に加え、この2年間では30を超える運営者と北海道、札幌市の2行政担当部局をはじめ10に近い支援事業者が集う中間支援

組織としてネットワークが拡大してまいりました。活動の中心課題テーマとして「安全」と「安心」を位置づけ、「学習」と「交流」を2年間実践してきた事と「安心」を担保する「子ども食堂保険」の創出と提案が支援を考える事業者、行政にとって、何より運営団体には「追い風」となり結集が増える要因となったものと考えております。

北海道生協連としての活動経過・評価・今後の検討課題、この2年間子ども食堂運営者の自主性を尊重し「見守り」を基本スタントして、事務局の派遣と必要経費の負担で、活動をサポートしてきました。一連の活動実績が社会的に評価され、昨今では未参加運営者からの問い合わせや各種集会への参加・発言要請、マスコミ取材、行政からの意見聴衆に加えて活動助成金の申し出なども広がってきています。社会的な評価が定着し、北海道生協連の存在価値が高まった事は、大きな成果といえます。今後一年をかけて、ゆるやかな組織運営の「子ども食堂北海道ネットワーク」のあり方や北海道生協連の係わり方について、現場目線で検討・調整していきます。